

研究番号 1226号 承認日 2020年8月21日

研究実施予定期間 承認後～2025年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	心臓血管外科術後の嚥下機能の改善と身体機能の関係の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	近年、高齢化に伴って嚥下機能障害を有する患者の割合が増加しており、嚥下機能がサルコペニアや不良な予後と関連することが報告されている。また、心臓血管外科術後には嚥下障害が生じることが報告されている。嚥下機能の低下は栄養摂取を妨げるだけでなく、誤嚥性肺炎などの合併症のリスクになることも知られている。しかし、術後の嚥下機能の改善が身体機能に及ぼす影響については検討されていない。本研究では、心臓血管外科術後患者の嚥下機能と身体機能の関連について検討することを目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木宏彦・リハビリテーション技術科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション技術科・主任・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	実施承認後 ～ 西暦 2025年 3月 31日	
7. 連絡先	氏名: 田中孝平 内線番号:	所属: リハビリテーション科 PHS 番号: 職: 技師主事

研究番号 1225号 承認日 2020年8月21日

研究実施予定期間 承認後～2025年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	集中治療後の嚥下機能と転帰および身体機能との関係の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	集中治療後の患者は人工呼吸器装着などの影響によって嚥下障害が生じやすいことが知られている。嚥下機能障害は栄養摂取を妨げるだけでなく、誤嚥性肺炎などの合併症のリスクになることも知られている。しかし、集中治療後患者の嚥下機能が転帰や身体機能の回復に及ぼす影響については検討されていない。本研究では、集中治療後患者の嚥下機能と転帰、および身体機能の関連について検討することを目的とする。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木宏彦・リハビリテーション技術科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション技術科・主任・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 研究の対象及び 実施予定期間	実施承認後 ～ 西暦 2025年 3月 31日	
7. 連絡先	氏名: 田中孝平 所属: リハビリテーション科 職: 技師主事 内線番号: PHS 番号:	

情報公開文書

1. 研究課題名	G-TESによる下肢骨格筋量および身体機能に対する効果の検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合には品名と一般名も記載)	手術侵襲やベッド上安静、摂取エネルギー量の低下など、入院期間中にはさまざまな要因によって骨格筋量の減少が生じやすいことが知られている。骨格筋量の減少は、筋力や身体機能の低下と関連しており、ADLやQOLの低下をもたらすと報告されている。しかしながら、急性期病院のリハビリテーションでは、挿管中の鎮静や疾患による意識障害、リスク管理などの理由によって積極的な自動運動が困難な場合も多い。近年、本人の努力を必要とせず骨格筋を収縮できる神経電気刺激装置を用いた廃用予防が注目されている。今回、入院中患者の下肢骨格筋量および身体機能に対するG-TESの効果を検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	北貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション技術科・技師主事・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他()
	<介入について> <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究)	<インフォームド・コンセント(アセント)について> <input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: リハビリテーション技術科 担当者: (氏名) 田中 孝平 (職名) 理学療法士 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 1021号 承認日 2019年4月9日
研究実施予定期間 承認後～2022年3月31日

情報公開文書

1. 研究課題名	消化器癌患者の手術前後の身体機能と体成分の変化の検討
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載)	消化器癌患者の手術前後の身体的変化として、一時的な運動機能や骨格筋量の低下が生じることが知られているが、入院期間中における短期的な変化についての報告は少ない。また、術後の体組成の変化を検出するための運動機能の評価方法は明らかにされていない。本研究では、消化器癌患者の術前後での短期的な体組成の変化を観察することと、術前後での体組成と運動機能の変化の関連について検討することを目的とする。
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	赤松大樹・一般外科・部長・大阪警察病院
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	田中孝平・リハビリテーション技術科・技師主事・大阪警察病院
5. 研究の分類	<p>〈侵襲性について〉</p> <p><input type="checkbox"/>侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/>軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/>侵襲を伴わない研究</p> <p>〈共同研究の有無について〉</p> <p><input type="checkbox"/>多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/>当院のみの研究 <input type="checkbox"/>その他 ()</p> <p>〈介入について〉</p> <p><input type="checkbox"/>介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/>介入を伴わない研究 (観察研究)</p> <p>〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉</p> <p><input type="checkbox"/>必要 <input checked="" type="checkbox"/>不要</p> <p>〈モニタリングと監査について〉</p> <p><input type="checkbox"/>必要 ⇒ ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 ()</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>不要</p>
6. 研究分担者 氏名・所属・職・所属機関	岸健太郎・一般外科・副部長・大阪警察病院 浅岡 忠次・一般外科・副部長・大阪警察病院 今里 正伸・一般外科・医長・大阪警察病院
7. 連絡先	<p>【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科：<u>リハビリテーション科</u> 担当者：<u>(氏名) 田中 孝平</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先：06-6771-6051</p> <p>※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

情報公開文書

1. 研究課題名	サルコペニア・低栄養患者に対するリハビリテーション栄養の効果	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場 合には品名と一般名も記載)	サルコペニアや低栄養は入院患者の身体機能障害や死亡のリスク因子となることが多くの先行研究で報告されている。また、運動療法と栄養療法はそれぞれ単独で行うよりも併用することでより効果が得られることが知られており、近年「リハビリテーション栄養」という考え方が注目されている。一方で、サルコペニアや低栄養を呈する患者に対するリハビリテーション栄養の治療効果の報告は少ない。そこで本研究では、サルコペニア・低栄養を呈する患者に対するリハビリテーション栄養の効果を検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	岸健 太郎・消化器外科・副部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	<侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	<共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	<介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	<インフォームド・コンセント (アセント) について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	<試料・情報の利用について> <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	<モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	<対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について：) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科： <u>リハビリテーション科</u> 担当者： (氏名) <u>田中 孝平</u> (職名) <u>技師主事</u> 連絡先： 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	

研究番号 807号 承認日 2018年1月16日

研究実施予定期間 承認後～

情報公開文書

1. 研究課題名	開心術においてFrailtyが術後経過に及ぼす影響についての検討	
2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある場合 には品名と一般名も記載)	近年の心臓大血管手術を受ける患者の高齢化や重症化が進むに伴い、患者の frailty が手術に与える危険性についての報告が議論されるようになったが、開心術における術後経過や予後に寄与する frailty を評価する方法は確立されておらず、予後との関連も明らかになってはいない。今回我々は術前 frailty を様々な角度から検証し、開心術後経過やリスクに与える影響について検討することを目的とした。	
3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関	西 宏之・心臓血管外科・部長・大阪警察病院	
4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関	柏木 宏彦・リハビリテーション科・副部長・大阪警察病院	
5. 研究の分類	〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究	〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 ()
	〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究)	〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト
	〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合)	〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要
	〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし	
6. 問合せ先	【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>リハビリテーション</u> 科 担当者: (氏名) <u>西谷 慎之介</u> (職名) <u>技師主任</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	